

## 令和4年度第2回萩警察署協議会会議録

開催日時	令和4年9月16日（金） 午後2時00分から午後3時30分までの間	
開催場所	萩警察署講堂	
出席者	委員	松岡会長、松田副会長、内田委員、岩本委員、山影委員、白松委員、大田委員、椋木委員、山本委員 <div style="text-align: right;">計 9名</div>
	警察署	署長、副署長、警務課長、生活安全課長、地域第一課長、地域第二課長、刑事課長、交通課長、警備課長、会務係員等 <div style="text-align: right;">計 11名</div>
議題	1 所管業務説明 2 うそ電話詐欺被害防止対策の推進について	
<p><b>1 会長挨拶</b></p> <p>署長を始め署員の皆様には、平素から市民町民の安全安心を念頭に職務に邁進されていることに対して心から感謝申し上げます。</p> <p>一昨日、山口県警察本部にて約3年ぶりに警察署協議会会長会議が開催された。会議では、16警察署の協議会会長等が出席し、意見発表や意見交換をしたが、どの協議会会長も、警察署協議会委員としてどのような取り組みができるのか試行錯誤をされていた。</p> <p>萩警察署協議会も委員の皆様から知恵や意見を頂きながら、その役割を果たしていこうと考えている。</p> <p>今回の諮問事項については、「うそ電話詐欺被害防止対策の推進について」である。忌憚のない積極的な発言をお願いします。</p> <p><b>2 署長挨拶</b> (省略)</p> <p><b>3 所管業務説明（署長）</b></p> <p>(1) 生活安全関係</p> <p style="padding-left: 20px;">○ 主な犯罪の認知状況（本年1月～7月）</p> <p>(2) 刑事関係</p> <p style="padding-left: 20px;">○ 刑法犯認知・検挙状況（本年1月～7月）</p>		

○ 主な検挙事件

(3) 交通関係

○ 交通事故発生状況（本年1月～7月）

○ 死亡事故の状況

○ 人身交通事故の主な特徴

4 諮問事項説明（生活安全課長）

「うそ電話詐欺被害防止対策の推進について」をパワーポイントにより説明

5 協議・検討

**（委員）**

警察からの情報発信を受け取る側が当事者意識を持たないと折角の情報も活用されないと考える。受け取る側にどのようにして、自らにも起こり得ることとして考えてもらえるのが重要になる。

**（委員）**

阿武町内の高齢者は、留守番電話を活用したり、知らない電話番号からの電話に出ないようにしている割合が高いように思う。

犯罪被害に遭いやすい70代80代の方へ、出前講座などで被害防止広報をよくされていると思うが、高齢者世代を親に持つ世代が、うそ電話詐欺の手口を知らないことが多いように思う。親を持つ世代に情報が届けば、その世代から親世代に注意喚起できるのではないか。

サポート詐欺の画面は警報音が鳴ったり、見たこともない画面になったりして、パニックになることが予想される。実際の詐欺に使われた画面を広報すれば、イメージが湧き、被害防止につながるのではないか。

新しい手口が出てくる度に実際の画面等を広報してもらおうとよい。

**（委員）**

このような画面が出たら詐欺だと知っておくことはよいことだと思う。

**（署長）**

警察が発信している情報を自ら取りに来てもらえる場合はよいが、自ら情報を取りに来ようとされない方にどのように届けるのが課題である。

**（委員）**

昨日、孫に動画を見せていたら、ウイルスに感染したと画面が変わり、その時、これがサポート詐欺の手口だと分かった。

コロナ禍ではあるが、高齢者の集まる場所で出前講座をして様々な手口について広報することが有効と思う。

**（署長）**

私もサポート詐欺の画面を見たことがある。画面を見た者に対して、何か変なものを見たのかと罪悪感を生じさせ、思考回路を停止させるようなものであった。

この詐欺は、パソコン内の個人情報などのデータが流出すると脅してくる。一

人で考えていたら、安易にお金を払ってデータが流出しないようお願いした方がよいと考えて、電子マネーを買い、連絡する。次に、番号が間違っていると言われ、何度もお金を要求され被害金額が増えていく。

この犯罪は、いかに不安に追い込むのかを考えたものである。抑止するためには、いかに不安を断ち切るか、誰かに相談するかが重要になる。

**(委員)**

被害に遭う理由について、「家族にバレたくない」「家族に迷惑を掛けたくない」という思いが強いためではないかと考える。

効果的な情報発信方策としては、実際に詐欺被害に遭われた方に承諾を得て、被害者の生の声を発信すれば、情報を得た方の心に響いたり、理解が進んだりするのではないかと考える。

他には、孫からの手紙文によって注意してもらおうというアイデアはよいものと考ええる。

先日、母が長寿の方へのお見舞金を受け取った際、警察からのチラシも同封されていて、その際、届けてくださった方が声を掛けて配られていたことが印象に残っているので、効果がある方策と思う。

**(委員)**

サポート詐欺の被害についてニュースで聞いたことがある。パソコンの画面に警告画面が表示されているといった実際の映像を見せることは効果的だと思う。

横断歩道は止まりましょうとJA共済とコラボして分かりやすいCMを流しているが、実際の画面を使ってこうなったら詐欺と目で見て分かるCMのようなもので広報すると伝わりやすいのではないかと考える。

**(委員)**

先程の説明から、詐欺の手口によって認知度に差があり、オレオレ詐欺は認知度が高いが、サポート詐欺は認知度が低いことが分かる。

不安を煽る手口であることがうそ電話詐欺がなくなる原因と考える。何度も情報を発信し続けて周知を図ることが重要と考える。

**(委員)**

警察の方が情報発信に努力されていることが分かったが、新しい手口が出てきて被害が増えていることも分かった。

警察の方が、学校や高齢者のサロンで講習されている。明木地区でも今度、うそ電話被害防止の講習が行われると聞いている。

子供は警察官の話を夢中になって聞くが、何日か経ったら忘れてしまう。忘れさせないために講習証明書や防犯シールを子供に渡してもらい、シールをカバンに貼っておけば、子供は講習内容を思い出せるのではないかと考える。

高齢者に対しては、警察官が巡回連絡で家を訪問した時に詐欺に注意する話をして、シールを渡し、それを家の玄関などの目立つところに貼れば、思い出してもらえるのではないかと考える。

うそ電話詐欺は、電話やメールを利用して犯罪を行おうとするが、以前「05

0」で始まる不審な電話番号からの着信があったが、知らない番号であるから、無視したことがあった。

**(署長)**

「050」で始まる電話番号は、インターネット回線からの電話であり、知らない番号からの着信であれば、詐欺を疑ったほうがよい。

詐欺の犯行に使われる電話番号や銀行口座は、売買する者がいて、犯行ツールとして売り買いされており、犯人に簡単にはたどり着けないことが多い。

先般、当署でも電話番号の売り買いをした者を検挙している。警察としては「検挙に勝る防犯なし」として検挙も行っている。

**(委員)**

高齢者は、孫がかわいい。子供たちが高齢者に向けて情報発信することによって高齢者は子供の話を聞いてくれる。子供の発信力を活用してみてもどうか。

先程、阿武町宇田郷地区でうそ電話詐欺に関するアンケートをされ、その結果について説明があったが、このようなアンケートを広く行うことでうそ電話が周知されるのではないかと考える。

**(委員)**

理容業者の協力を得て、待ち時間にうそ電話の広報をしていると聞いたが、病院や薬局の待合場所にポスターを掲示して広報してはどうか。

金融機関にパトカーの姿があると抑止力が高まると考える。継続して姿を見せてほしい。

知人から聞いた話だが、詐欺に遭いそうになった人が、犯人を相手にして値引き交渉をした話がある。その考えは私にはなかったのでその話の中にうそ電話に気付けるヒントがあるのではと思う。

**(委員)**

3か月前、新聞報道で暴力団員が公金詐欺を行ったと聞いた。その際、萩署管内にも暴力団員が住んでいると知った。

萩署管内に住む暴力団員が市街地に住むのか郡部に住むのか、可能であれば教えてほしい。

**(刑事課長)**

暴力団員の居住地については捜査情報等のため回答できない。

管内に全くいないという訳ではない。警察でも関心を寄せている。

以 上

**6 配付資料**

- ・令和4年度第2回萩警察署協議会資料（警察署作成）
- ・うそ電話詐欺被害防止対策の推進について（警察署作成）

7 その他

次回開催 令和4年11月下旬から12月上旬頃を予定。